

決済WG 4-7

既配付資料
(決済WG 1-5)

事業説明資料

平成20年5月16日



株式会社ウェブマネー
<http://www.webmoney.jp>

本資料に記載された意見や予測などは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。
様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは異なる場合があることをご承知おきください。

会社概要とビジョン

Vision

我々ウェブマネーは、独自の決済インフラを構築し、安全で利便性の高い電子決済サービスを提供することにより、インターネット上（オンライン・リアルタイム決済）での価値交換の媒体としてのデファクトスタンダードの地位を確立することを目指しております。

【会社概要】

会社名	株式会社ウェブマネー
事業内容	電子マネーWebMoneyの発行・販売 WebMoneyを利用した電子決済サービスの提供
所在地	東京都港区浜松町1-18-16 住友浜松町ビル10F
設立	1988年3月
資本金	432百万円（2008年3月31日現在）
代表者	溝口龍也
上場取引所	ジャスダック証券取引所NEO
証券コード	2167
決算期	3月

【沿革】

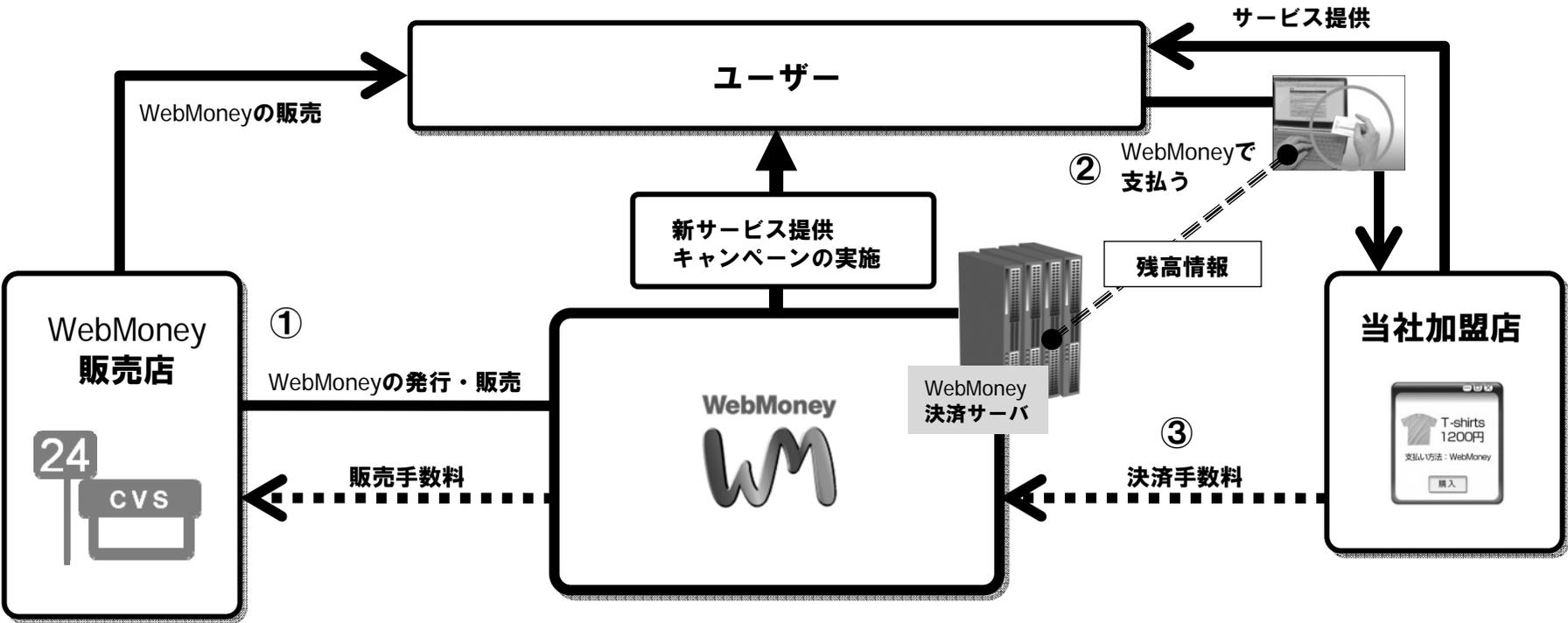
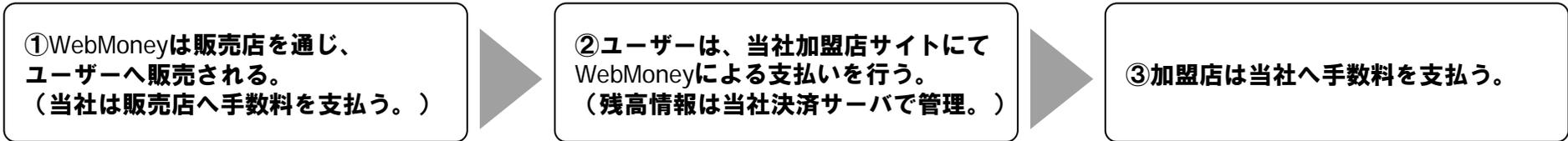
1999年 4月	株式会社アイフォーより電子マネー事業の営業譲受けを実施し、電子マネーの発行・販売及び電子決済システムの提供を開始。
2000年 3月	事業年度の末日を9月30日から3月31日に変更。
2003年 7月	株式会社フェイスの連結子会社となり、株式会社フェイスは当社親会社となる。
2003年12月	会員サービス「WebMoney PREMIUM」の提供を開始。
2004年 3月	本店を東京都渋谷区に移転。
2007年 5月	本店を東京都港区に移転。
2007年 8月	会員サービス「WebMoney PREMIUM」をリニューアルした「ウェブマネーウォレット」の提供を開始。
2007年12月	ジャスダック証券取引所NEOに上場。

当社の事業内容

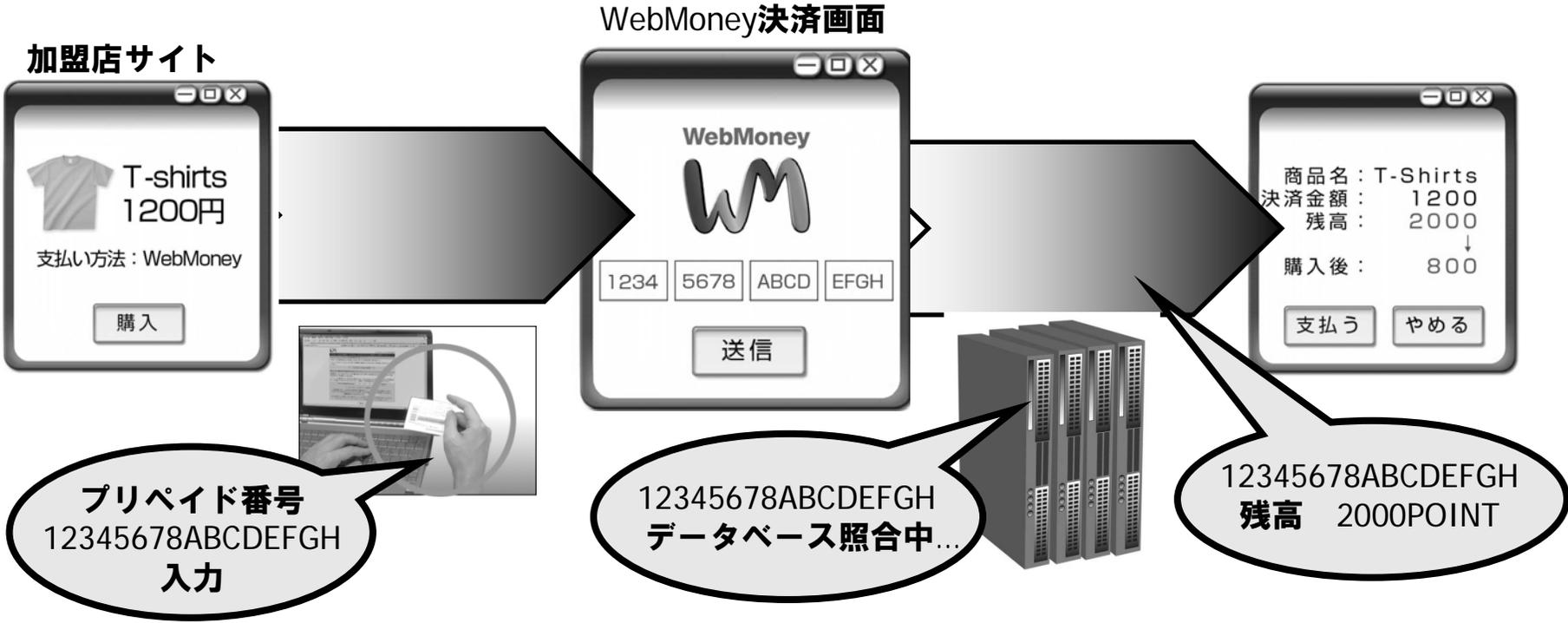
■事業内容

- ①決済機能を有したサーバ管理型電子マネー「WebMoney」の発行・販売。
- ②電子決済サービスの提供。

【主な流れ】



WebMoneyによる決済の仕組み



近年、電子マネーの利便性が着目され、多種にわたる電子マネーが普及している。これらの多くは残高情報がカード媒体に保存されたICカード型電子マネーであり、使用時に専用リーダー等の機器が必要となる。

これに対し、WebMoneyはサーバ管理型電子マネーと呼ばれ、残高情報を16桁のWebMoneyプリペイド番号で当社の専用サーバにて管理。この特徴により、ユーザーはWebMoneyプリペイド番号を入力するだけで決済を行うことが可能。

WebMoneyの販売

WebMoney販売形態

オンライン販売等

店頭販売

WebMoneyの販売店

コンビニエンスストアを中心とした全国約42,000店の販売店等
及びオンラインでの販売。

WebMoneyの販売形態

店頭販売



WebMoneyカード

カード裏面にあるスクラッチをコイン等で削ることで、WebMoneyプリペイド番号を表示するタイプ。表面は加盟店オリジナルのデザインにするなど販促ツールとしても利用可能。



WebMoneyシート

主にコンビニエンスストアのマルチメディア端末などで手続きを行い、購入するタイプ。チケットタイプやシートタイプ、レシートタイプのものまで販売店によって形態は異なる。

オンライン販売



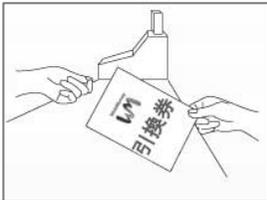
オンライン販売

ネット上でクレジットカードやオンラインバンキングを利用して、WebMoneyを購入する方法。購入したWebMoneyは、ウェブマネーウォレットに自動的にチャージされる。

WebMoneyシートの購入方法



店頭端末で購入額を指定し、引換券を発行。



レジで引換券を渡し、代金を支払う。

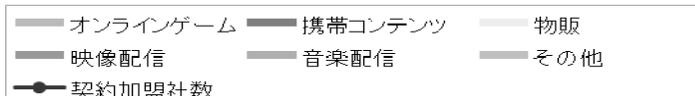
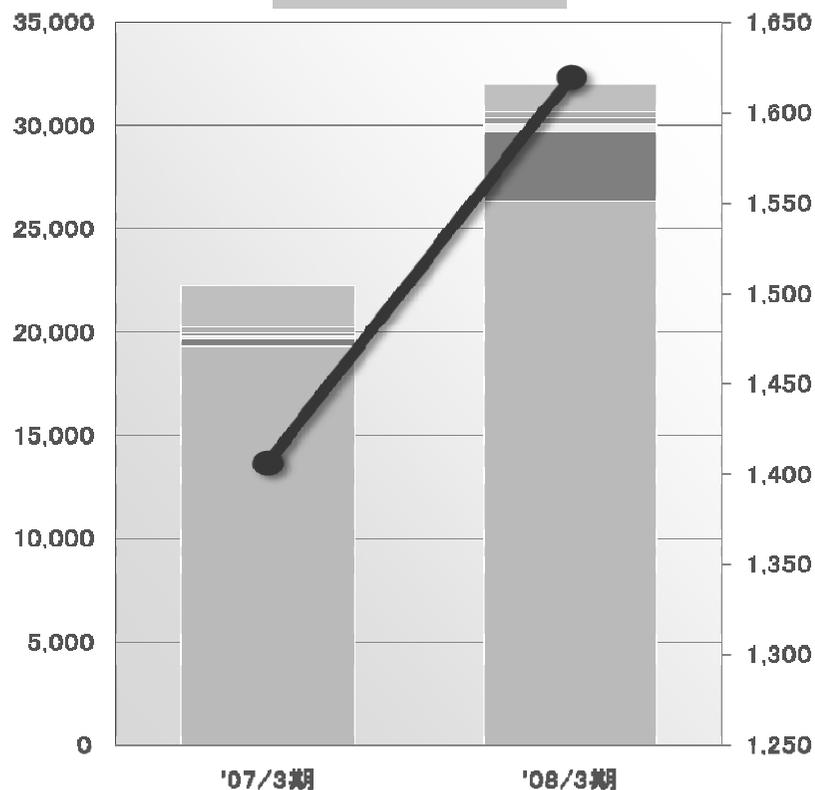


プリペイド番号が書かれたWebMoneyシートを受取る。

WebMoneyが使える加盟店

デジタルコンテンツ配信会社及び物品販売サイト運営会社等と幅広く加盟店契約を締結。
特にオンラインゲーム運営加盟店での決済が当社決済額の8割以上を占める。

当社加盟店数推移



加盟店例



WebMoneyの特徴

● 安全性が高い

WebMoneyは、インターネット上で個人情報等の入力の必要がなく、16桁のプリペイド番号の入力だけで決済が可能。
(匿名のまま使用できる。)

● 利便性が高い

インターネットに接続できる環境さえあれば購入から決済までが可能。
(チャージ、決済時に専用機器が不要。)

● ユーザーの制限なし

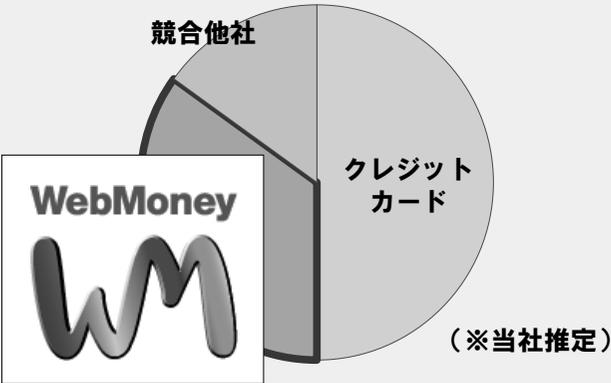
コンビニエンスストアで購入し、簡単に決済可能なため、クレジットカードを持っていないユーザーでも利用可能。

● 未回収リスクなし

プリペイド(前払い)方式のため、加盟店にとって未回収リスク無し。

● WebMoneyのシェアイメージ

デジタルコンテンツ上、特にオンラインゲーム等における決済額を100%とした場合、クレジットカードによる決済50%、その他が当社のような電子マネーによる決済であると考えられる。
中でも当社はそのうちの70~80%を占めていると推定。



ウェブマネーウォレットとは



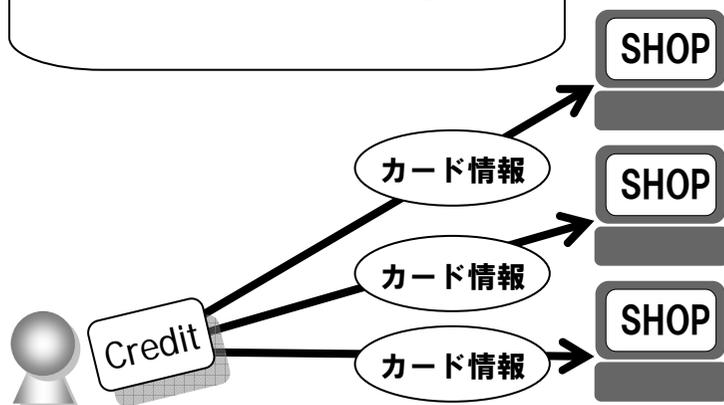
Web上のお財布機能 ウェブマネーウォレットの特徴。

- ①複数のWebMoneyプリペイド番号をひとつの残高にまとめておけるお財布機能。
- ②誰でも無料で利用できる。
- ③16桁のプリペイド番号を入力することなく決済が可能。
- ④クレジットカードやオンラインバンキングでチャージ可能。

【ウェブマネーウォレットを使用する優位性】

- インターネット上でクレジットカードを使用
カード情報を、サイト毎に入力する必要あり。

インターネット上でクレジットカードを使用するのは**不安**。



- インターネット上でウェブマネーウォレットを使用
サイト毎に個人情報の入力の必要がなく、簡単に決済可能。

不安感の解消と利便性の向上！

- 匿名だから安心。
- IDとパスワードで残高管理できて簡単。
- オンラインで購入から決済まで可能。

